

平成27年12月22日

東海第二地域原子力防災協議会第2回作業部会メモ

1. 日時

平成27年12月17日（木）13:30～14:35

2. 場所

内閣府本府大臣室

3. 出席者

千葉県：危機管理課長以下2名

埼玉県：危機管理課主幹

栃木県：危機管理課長以下2名

群馬県：危機管理室計画調整係長

茨城県：原子力安全対策課長以下5名

内閣府：政策統括官（原子力防災担当）付参事官補佐以下2名

原子力防災専門官（東海・大洗担当）

4. 会議概要

茨城県から、茨城県内で計画していた大洗町の避難先の受け入れ可能数に変化が生じたため、大洗町の住民は県外へ避難させることに計画を変更することのほか、埼玉県及び群馬県を含めた避難先の割り当てを説明した後、埼玉県及び群馬県を除く避難先の割り当ての2つを説明した。

水戸市の避難は小学校区単位で考えており、避難者の受け入れ規模が小さい多くの市町への分散避難を避けるため、これを前提に調整を進めたい旨説明した。

5. 作業部会終了に当たっての挨拶

【参事官（地域防災・訓練担当）】

避難先の調整については、各県の協力を得ており感謝したい。避難計画の充実化を進めることは重要であり、今後も各県の協力をお願いしたい。

【茨城県原子力安全対策課長】

当初のスタートラインが崩れないように、再検討することにしたい。各県におかれては、県内市町村に対する調査、協議等をして頂き、感謝申し上げます。引き続き協力をお願いしたい。